

道上学区まちづくり推進委員会

委員長 齊藤 義雄

（問合せ先） 084-963-2391（道上交流館）

事業内容

（1）健康増進事業

- ① 学区民体育大会事業（5月12日）
- ② 一斉ラジオ体操事業（中止）
- ③ 健康教室事業（中止）

（2）文化生涯学習事業

- ① 学区盆踊り大会事業（8月3日）
- ② ふれあい祭り事業（10月26日～10月27日）

（3）教育事業

学区民食生活改善指導教室事業（年4回 6月6日・9月5日・11月7日・1月16日）
夏休みこどもクッキング（8月22日）

（4）環境美化事業

① 公衆衛生事業

- 1. ローズエネルギーセンター エフピコ福山リサイクル研修（9月26日）
- 2. ポスター・標語展示（10月26日～10月27日）
- 3. 道上小学校表彰式（11月25日）
- 4. 伯方の塩業大三島工場見学研修（1月28日）
- ② 道上駅整美活動事業（通年 JR 道上駅 400人）

③ 一斉クリーン事業（中止）

（5）人権啓発事業 人権講演会事業（11月13日）

（6）安心安全事業 自主防災事業（11月24日）

（7）まちづくり推進委員会運営事業（通年 道上交流館 延べ43人）

（8）コミュニティ育成事業（各町内会 参加者延べ 2,800人）



学区民体育大会事業



学区盆踊り大会事業



学区民食生活改善指導教室事業



公衆衛生事業

成果

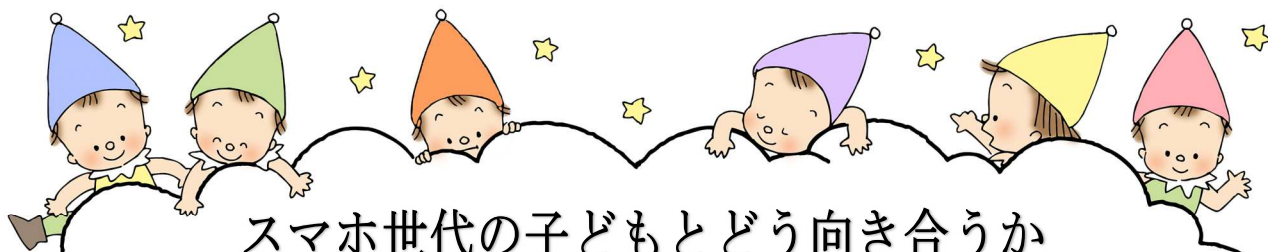
学区民体育大会・盆踊り大会・ふれあい祭り等、事故もなくコミュニティを図ることができた。道上駅整備活動も定着し、公衆衛生事業は充実した活動ができている。学区全体で実施した防災訓練は自衛隊の指導を受け、成果を上げることができた。

課題

子育て会や老人会の解散や女性会の高齢化による会員減少など、構成団体の減少・担い手不足。

課題解決にむけて

参加者の高齢化・固定化が続いているので、幅広い層の参加者を増やせるよう事業の見直し・工夫をする必要がある。



スマホ世代の子どもとどう向き合うか ～SNS、ゲーム、ネットいじめの問題を考える～

2024年11月13日(水)、道上交流館にて、ジャーナリストの石川 結貴さんを講師に迎え、「人権講演会」を開催しました。

今回の講演会では、子どもを取り巻く現代社会の課題と向き合いながら、おとなとしてできることを考える貴重な機会となりました。

♡子どもの「心」を守るために・・・

・「心のコミュニケーション」を築く。

おとなが情報を学び、子どもと共に考える姿勢を大切にする。

・役割と責任を与える。

子どもに責任感を持たせ、失敗を受け入れる経験を通じて自己肯定感を育む。

・社会との関わりを実感させる。

子どもたちが「誰かを助けられる自分」「誰かに必要とされている自分」を知ることが、人生を前向きにするきっかけとなります。



子どもたちの未来を守るためには、私たちおとながまず学び、行動を起こす必要があります。日々の生活の中で、心の繋がりを深め、社会全体で子どもたちを支えていきましょう。

また、お忙しい中、講演会にご参加いただきました皆さま、誠にありがとうございました。



道上学区 一斉防災訓練

2024年11月24日(日)に道上小学校において道上学区一斉防災訓練を開催し、学区全体で災害に対する意識を高めました。

今年度の防災訓練は、今後30年以内に発生する確率が70～80%と言われている大規模地震南海トラフに備えるため、自衛隊(広島地方協力本部 福山地域事務所)の方にご協力いただき、防災講話・訓練実習・自衛隊車両装備品の展示見学などを行いました。

今後も地域全体で連携し、いざというときに備えた体制づくりを進めていきたいです。

また、日頃からの声かけや助け合いを大切に、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指してまいります。

